

科目分類	助産学実践科目 実践・関連			開講時期	1年	前期
科目名	周産期の診断と技術Ⅱ（分娩期・胎児期・新生児蘇生法）					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2単位	60時間	授業形態	講義演習
担当教員	野々山 未希子 ・ 田中 真穂 ・ 窪田 裕子					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田)			オフィスアワー	随時相談に応じます。 事前にメール連絡してください	

授業目的	<p>1) 分娩期及び胎児・新生児（出生直後）期における対象者について、正常な経過とその逸脱の判断に必要な知識について説明できる。</p> <p>2) 分娩期及び胎児・新生児（出生直後）期における対象者について、正常な経過とその逸脱に必要な知識を統合し、判断する過程を説明できる。</p> <p>3) 分娩期及び胎児・新生児（出生直後）期に必要なケア、分娩介助技術に関する基本的な助産技術について、助言を得て実践することができる。</p>
授業概要	産婦の健康状態および分娩経過にかかわる助産診断、産婦の援助技術と分娩介助技術を理解し、産婦に対して適切な助産診断と分娩介助を含む助産技術を実践できる基礎的能力養う。

授業計画	第 1 回	分娩期のケアの基本的な考え方 (野々山) 分娩期の助産師の役割、助産師の責務、産婦の意思・主体性の尊重
	第 2・3 回	分娩経過の診断に必要な知識 (田中) 分娩 3 要素+母体精神、分娩機転 分娩が母体および胎児に及ぼす影響
	第 4～6 回	分娩経過の診断と分娩予測 (野々山) 分娩経過の診断、分娩経過に伴う母体・胎児の健康状態のアセスメントの視点、分娩経過に影響する胎児附属物のアセスメント、分娩予測
	第 7・8 回	分娩期のケア (田中) 分娩第 1～4 期のケア 産痛緩和、基本的ニーズへの支援、呼吸法、フリースタイル分娩
	第 9・10 回	出生直後から早期新生児期の診断とケア：講義・演習 (窪田) 出生直後のケア、早期接触、早期授乳、出生直後～24 時間のケア、 生後 24 時間～1 週間のケア
	第 11・12 回	分娩期における異常 (ハイリスク) (田中) CTG の判読 分娩 3 要素の異常：陣痛、回旋、胎児機能不全、出血
	第 13～16 回	事例を用いた助産過程の展開 (窪田・田中・野々山)
	第 17・18 回	分娩期に必要な技術 (窪田・田中) 清潔操作・産痛緩和・導尿・内診技術
	第 19～27 回	分娩介助技術 <b>*当該時間外に自己演習時間が必要</b> (窪田・田中)  原理と基本 デモンストレーション 分娩介助に必要な物品の準備・環境の調整 ガウン装着・外陰部消毒、導尿 清潔野の作成 分娩介助技術
	第 28～30 回	新生児蘇生法 (田中・窪田)

<p style="text-align: center;"><b>教材 参考文献等</b></p>	<p>教科書：助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期，医学書院  助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期，医学書院  助産師基礎教育テキスト 2018 年度版 第 5 巻 分娩期の診断と  ケア， 日本看護協会出版会  細野茂春．NCP2015 新生児蘇生法テキスト第 3 版．メジカルビ  ュー社  日本産婦人科学会「産婦人科診療ガイドライン 産科編」</p> <p>参考書：荒木勤，最新産科学 正常編，文光堂  荒木勤，最新産科学 異常編，文光堂  北川真理子他，今日の助産—マタニティサイクルの助産診断・実  践過程 改訂第 3 版，南江堂  進純郎他，正常分娩の助産術，医学書院  藤森敏也，胎児心拍数モニタリング講座—大事なサインを見逃さ  ない！，  メディカ出版</p> <p>*授業内で適宜紹介する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>成績評価 基準・方法</b></p>	<p>筆記試験 50%，実技試験 50%（合格基準：筆記・実技各 60%以上）</p>
<p style="text-align: center;"><b>履修要件</b></p>	<p>なし</p>
<p style="text-align: center;"><b>留意事項 その他</b></p>	<p>助産過程を展開していく上で、看護過程、基礎看護技術が基本になります。  看護師基礎教育で学んだ既習の知識・技術を復習して講義・演習に臨んで下  さい。</p> <p>定期試験期間に行う筆記試験が、実技試験の受験試験要件になります。  また、<u>実技試験の合格が、後期「助産学実習Ⅱ」の履修要件になります。</u></p> <p><u>*当該期間に 30 時間以上の予習・復習が必要</u></p>